



科学の力で真相究明！

相棒は警察官

Profile

科学捜査研究所 物理科
平成30年採用 警察行政職員
九州大学大学院 総合理工学府 卒業

やりがい

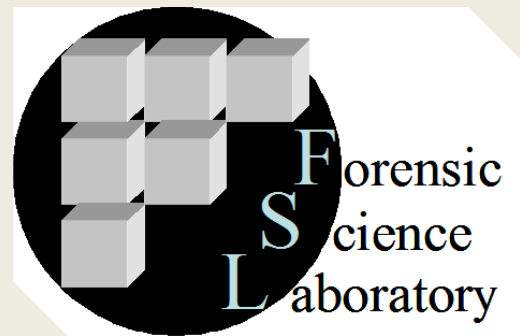
事件などの真相究明には、実際に現場で戦う警察官と、私のような専門的な知識を持った警察行政職員が一丸となって取り組んでいます。

警察官は、まさに私たち警察行政職員の「相棒」です。

私の担当業務は、物理学や工学の知識を活用した鑑定により、犯行に使用された用具の特定や火災の原因究明などです。そのため、担当する事件や鑑定の種類は非常に幅広いものとなります。私が答えを出した鑑定結果が、**事件解決の決め手になった**と警察官から聞いたときは、この仕事に大きなやりがいを感じました。

警察行政職員になったきっかけ

学生時から科学の力で事件を解決する科捜研の仕事に興味がありました。一度は民間企業に就職しましたが、大学で学んだ専門的知識と社会人生活で得た経験を生かして、県民の皆さんの安全・安心な暮らし作りに貢献したいという思いから科捜研職員を志しました。



印象に残るエピソード



特に印象に残っている鑑定は、事件に使用された拳銃を特定したことです。発見された拳銃は、外見上発射できそうにありませんでしたが、経験豊富な上司のアドバイスを受けながら、試行錯誤のうえ鑑定し、発射できることを明らかにしました。この鑑定結果等により、拳銃が事件に使われた凶器であることを証明でき、**事件の真相究明に大きく貢献することができました。**

職場環境

鑑定に必要な知識や技術は、大学などでは教わらなかったことばかりですが、職場では**経験豊富な上司がサポート**してくれますので心配は要りません。

また、自分が関心を持った分野を積極的に学び、事件の解決に貢献するための研究にも取り組み、学会などで研究発表する環境も整っています。



警察学校での生活

警察学校に入る前は、学校生活についていけるか正直不安でした。実際に入校してみると、今までに体験したことのない規則や集団生活に戸惑いましたが、一緒に入校した同期生と声を掛け合い、卒業できたときには自分が一回り成長できたなと感じました。

卒業後は同期生とは離ればなれになりましたが、今でも公私ともに励ましあう善き仲間になっています。

休日の過ごし方

休日は趣味の料理を楽しんでいます。業務で鍛えた集中力や正確性は、料理を美味しく作るにも役立っています。福岡は博多、天神などの繁華街が有名ですが、少し足を延ばせば海、山の自然が広がっており、山登りや釣りにも挑戦しています。



メッセージ

就職活動は迷いと不安を感じると思いますが、もう一度自分を見つめ、やりたいこと、喜びを感じることを探し出して、自分の思いをアピールしてください。福岡県警には、専門知識を活かせる仕事、人々の安全・安心に貢献できる仕事があります。

このページをみてくれた皆さんと共に働けることを楽しみにしています。

